



中学生80名と高校生280名の新入生を迎えました

本来なら、今年度は第5回中学校・第32回高等学校の入学式を開催し、保護者、先生方、来賓の方々が見守る中で、盛大に入学式を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大を防止するために、学校休業が長引き、入学式や始業式を開催できませんでした。新入生及び保護者の皆様には大変申し訳なくしております。新年度のスタートが少々遅れましたが、教職員・在校生一同、皆さんの入学を熱烈歓迎いたしております。



中学1年生の皆さんも本校の生徒として、誇りを持って学校生活に取り組んで欲しいと思います。3月まで小学校で学校生活を楽しいでいたと思いますが、これからは、この球陽中学校・球陽高等学校のキャンパスで学校生活を楽しいで欲しいと思います。

また、高校1年生にとっては、本校への入学、ほんとおめでとうございます。これから先、楽しんで高校生活を過ごして欲しいと思います。

新型コロナウイルス感染症対策

未曾有の被害が拡大している新型コロナウイルスですが、未だ終息の路が見えません。ワクチンの早期開発も待たれる中、オリンピックも来年へ延期になり、全国高校総体や全中大会も中止となりまた、夏の高校野球も中止となりました。

本校においても、今年の大行事である「体育祭」も中止となり、皆さんが活躍できる場や機会がことごとく奪われています。しかし、これは全て皆さんの安心・安全そして命を守るための判断であり、この決断の先に皆さんの悲痛な表情や悲しい思いがあることは招致しています。この事態に対して、楽観はできないが、大げさに悲観する必要もありません。終息の先に何をすべきかを考える必要があると思います。

今、オンライン授業が加速的に開始され、本校においても実験的ではありますが、開始しています。また、5G（第5世代）携帯電話サービスがもうそこまで来ています。これを使えば「出来ること」は増えるでしょう。IoTも広がり、急速なICTの利活用が増え、AIの到来も早まることでしょう。新たなビジネスモデルを想定して、我々は教育活動に力を注がねばなりません。

これまでの生活に戻るのには、かなり時間が掛かるように思えます。もしかしたら2度とあの生活は戻らないかもしれません。厚生労働省からも「新しい生活様式」の実践例が出されています。学校においても、下記のように過ごさなければなりません。

◆授業◆

- ・人との間隔は2m(最低1m)あける
- ・会話は真正面を避ける ・接触しての活動は避ける

◆教室移動◆

- ・横並びで歩かない

◆トイレや手洗いの順番待ち◆

- ・前の人との間隔を保つ（詰めない）

◆昼食時◆

- ・対面で食べない、話さない

コロナに負けず！頑張ろう！



学校登校日

5月13日(水)から15日(金)に学校登校日を設けて、教科担任との顔合わせや学級担任からの学校開始等についての話しがありました。下の写真は、中学1年生の様子です。2教室の仕切りを取っ払い、40名の生徒に一つ飛びに座ってもらいました。大変静かでした。



自己紹介(経歴)

- 昭和63年：糸満高校数学教諭として採用
中学生時のバレーボールの経験を
活かしてバレーボール部の顧問をした。
- 平成3年：宮古工業高校 自動車科・電気科を担当
- 平成6年：那覇西高校(H11教育センター長期研修)
- 平成14年：教育センター指導主事
- 平成18年：向陽高校 教科「情報」も受け持つ
- 平成21年：教育センター(「センター返し」という)
- 平成23年：宮古総合実業高校教頭として赴任
- 平成26年：那覇高校教頭
- 平成28年：教育センター(3度目の勤務)
- 平成30年：宮総実にて校長として赴任(宮古3度目)
- 令和2年：球陽中・高に校長として赴任



※ 宮古には3度赴任し計8年いました。教育センターも3度赴任し計8年いました。